



はなのき

神坂小学校だより No.5 2025.7.18



学校の教育目標の具現に向けて

校長 伊藤 博章

新入生4名を迎え、40名でスタートした神坂小学校ラストイヤーの令和7年度。早いもので、4か月が経とうとしています。ここまで大きな事故もなく、夏休みを迎えることができるのも、ひとえに保護者・地域の皆様のご理解やご協力があったることと心より感謝申し上げます。

さて、神坂小学校の学校の教育目標は、「かしこく なかよく たくましく」です。年間の1/3を終え、夏休みを前に、この目標について振り返ってみます。

☆「かしこく」☆

今年度も昨年度に引き続き「自分の考えをもち、伝え合う子」の育成を目指して、毎日の授業や行事を行っています。伝え合うことで、私たちは他から学び、自分の思考を広げたり深めたりすることができます。また、言葉を通して伝え合うことで、相手をはじめとする他者だけでなく、自分を理解することにもつながります。職員が「思いや考えを言語化すること」にこだわって指導していることが、授業や行事の意見発表で、「〇〇だと思います。わけは〜。」のように、根拠をもとに自分の意見を伝えようとする子供の姿に表れてきています。



☆「なかよく」☆

7月に行ったなかよし集会のめあては「笑顔で仲良く、ぽかぽか言葉・行動ができる神坂小学校にしよう」でした。例年の「ぽかぽか集会」から「なかよし集会」に名前を変えた理由を代表委員の友哉さんに尋ねたら、「お互いがより仲良しの関係になってほしいからです。」と堂々と答えてくれました。願いや目指す姿を明確にして計画できた代表委員と6年生に、リーダーとしての大きな成長を感じてうれしくなりました。当日は、全校が笑顔で質問じゃんけんに取り組み、学年発表では仲間のよさを認め合える温かい空気感でいっぱいの素敵な集会になりました。



☆「たくましく」☆

「自分の命を自分で守る」ことを意識するために、「命」について考えるたくさんの訓練や体験を実施しました。交通安全教室・自転車教室、火災避難訓練、不審者対応訓練、PTA親子講演会（ネット・スマホとの付き合い方）、スクールセーフティ事業（シートベルトの大切さ）、水の事故防止（浮いて待て）等。いざという場面で、それぞれの訓練や体験で学んだことが、自分を守る行動や力になることを願っています。



いよいよ明日から40日間の夏休みが始まります。夏休みは、自分のやってみたいことや時間をかけてじっくり取り組んでみたいことなど、普段の生活の中ではなかなかできないことに積極的に挑戦するなどして、ワクワクした充実した毎日を過ごしてほしいです。子供たちにとって、事故なく健康・安全で、そして価値のある夏休みになることを心から願っています。ご協力と見届けを、よろしくお願いします。